

ピンチテクノロジー実践入門

～省エネ解析手法体系と適用の実際

リーマンショック前後のエネルギー価格の乱高下の後、現在は高止まりの状況がしばらく継続すると見られている中、産業競争力の維持回復における省エネの重要性はこれまでになく高まっている。ピンチテクノロジーは熱力学に基づく熱交換ネットワークの解析手法として第1次オイルショック後の70年代後半に誕生して以来、プロセス単体の熱回収問題から工場全体のエネルギーシステムの合理化、さらにはコンビナートのエネルギー共有問題に至るまで、その適用範囲の拡大を続けている。さらに高度な企業間連携問題においても、エネルギーと物質のネットワークを同時に解析する手法も確立されている。ピンチ解析手法の最大の特徴は「Target before design」、すなわち設計作業を行う前に、そのシステムが達成可能な省エネ量を示せることである。これによって効率的な検討対象の絞り込みが可能となり、また広い範囲で相乗・相殺効果を検証しながら間違いのない省エネ投資を計画・実施することが可能となる。今回の講座では、ピンチテクノロジーの手法体系全体を網羅しつつ、そのエッセンスを実例も交えて解説する。

日時 2013年12月5日(木) 10:30～16:00

会場 大田区産業プラザPIO 6階 C会議室 (東京都大田区南蒲田1-20-20)

受講料 46,200円(税込) STbook会員価格 43,890円(税込) *資料・昼食代含む STbook会員とは当社ホームページの登録会員(ログイン機能)です。(無料)

講師 巽浩之氏 有限会社シミュレーション・テクノロジー 取締役

京都大学 工学研究科 化学工専攻修士 修了
化学会社で9年間プロセス開発および工業改良業務に従事。
その後ピンチテクノロジー専門の英国リンホフマーチンでエネルギーコンサルタント業に従事。
平成13年有限会社シミュレーション・テクノロジー創設し、リンホフマーチンを買収した上でCプロセステクノロジー社エネルギー部門の国内代理店業務を開始、現在に至る。
18年間にわたりピンチテクノロジーの専門家として多数のプラント、工場、コンビナートのピンチ解析による省エネ改修検討やエネルギーシステムの合理化・最適化などの検討を担当。
平成14年省エネルギーセンターより国内唯一のピンチ解析実践本「ピンチテクノロジー 省エネルギー解析の手法と実際」を出版。
コプロダクションピンチ解析コンサルティングサービス「JUPITER」で平成23年度省エネ大賞を受賞(製品・ビジネスモデル部門、審査委員会特別賞)。

講演詳細

① イントロダクション

- (ア) 昨今のエネルギー事情と省エネの経済性
- (イ) ピンチテクノロジーの特徴と実績
- (ウ) ピンチテクノロジー技術体系

② ピンチテクノロジーの基礎

- (ア) 検討手順
- (イ) ピンチ解析基礎手法(例題プロセス)
- (ウ) 熱交換ネットワーク設計手法
- (エ) ピンチ解析に必要なデータ
- (オ) プロセス改善による省エネポテンシャルの拡大
- (カ) 蒸留・蒸発操作のインテグレーション法則
- (キ) ヒートポンプ・ヒートエンジンのインテグレーション法則

(ク) 蒸留塔の熱回収(GCC)解析

(ケ) 低温プロセス解析方法

(コ) ピンチテクノロジーによる工場エネルギーシステムの解析・設計法

- (ア) 工場エネルギーシステムの省エネ課題
- (イ) トータルサイト解析手法(R-Curve, SSSP, RoadMap)と適用事例
- (ウ) ヒートポンプ適用性診断方法
- (エ) 検討の進め方

④ 最近のトピックス

- (ア) コンビナートのエネルギー共有問題へのピンチ解析法の適用
- (イ) 物質系ピンチ解析(水ピンチ、水素ピンチ、等)
- (ウ) エネルギー用役系(動力・蒸気システム)の運転最適化
- (エ) 最新のピンチ解析ソフトウェアの紹介
- (オ) 物質とエネルギーを同時に扱うコプロダクションピンチ解析の手法と事例
- (カ) エネルギーマネージメントシステム

このセミナーは中止しました

セミナー申込用紙

セミナー名: ST131205(ピンチテクノロジー実践入門 ～省エネ解析手法体系と適用の実際)

DM

会社名 団体名			
部署・役職			
ふりがな		〒	
氏名	住所		
TEL	FAX		
E-mail	※申込みに関する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。		
STbook会員(無料)に	<input type="checkbox"/> 登録する	<input type="checkbox"/> 登録済み	※E-mailアドレスが必須です。 ※左に✓印をつけてご入会いただくと、この申込からSTbook会員価格で申込できます。
今後、弊社からのご案内が不要な方は以下に✓印をつけてください。 <input type="checkbox"/> 郵送DM不要 <input type="checkbox"/> E-mail不要	通信欄		

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238**までお申込みください。
※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

■お申込み方法

必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。または当社ホームページからお申し込みください。

■受付完了のご連絡

受付完了後、3営業日以内に請求書、受講券、会場案内図を郵送いたします。 ※お申込み後7日以上経っても受講券・請求書がお手元に届かない場合は、弊社までご連絡ください。

■お支払

銀行振込にてお願いいたします。受講料のご入金は、開催日までにお願いたします。やむなく開催日以降にご入金の場合は、当日現金でお支払またはお申込みの際に振込予定日をご記入ください。銀行振込の場合、領収証の発行はいたしません。

■個人情報の取り扱い

ご記入の個人情報は、商品の発送、事務連絡、ご案内等に使用いたします。